

トレビス 苗作りは十分な灌水を

園芸研究家●成松次郎

赤キャベツに似ていますが、レタスの仲間で結球レタスを小ぶりにした形です。特有の苦みと鮮やかな赤紫で、サラダに彩りを添えます。

発芽と成長の適温は15〜20度なので、夏と冬の生育は困難です。中間地では、種まき適期は8月で、収穫期は11、12月です。

〔品種〕「ヴェネチア」（トキタ種苗）、「イノセント」（タキイ種苗）などがあります。

〔苗作り〕小型ポットかセルトレーに1穴当たり4、5粒ずつ種をまき、種まき後は新聞紙をかけ、強い日差しを避けるようにします（図1）。暑い時期で蒸散が盛んなため、たっぷり灌水（かんすい）します。本葉2枚までに1本になるように間引きします。本葉3、4枚までしっかりと育った苗を作ります。育苗中は、日よけのトンネルやよしずをかけて強い日差しを避けます。

〔畑の準備〕畑1平方m当たり苦土石灰100gをまき、土とよく混ぜておきます。次に、植え付け1週間前に、幅90cm程度の栽培床（ベッド）に、元肥として化成肥料（NPK各成分10g）200g程度と堆肥2、3kgを施します（図2）。

〔植え付け〕栽培床を平らにし、水分保持と雑草を抑えるためマルチフィルムを張ります（図3）。条間30cmでは3条、条間40cmでは2条とし、株間30cmに植え付けます（図4）。

〔追肥〕1回目は植え付けの2、3週間後、2回目は球が巻き始めた頃に、それぞれ1平方m当たり30g程度の化成肥料を施し、株元に土を寄せておきます。マルチ栽培では1回目はマルチ穴に、2回目は栽培床の両側に施し、土を寄せておきます。

〔病害虫の防除〕高温期にアブラムシなどが発生しますが、比較的病害虫は少ない野菜です。発生の多いときはモスピラン顆粒水溶剤を用います。

〔収穫〕秋が深まり寒くなると、赤色が鮮やかになってきます。頭部を押さえて球が固く巻いてきたら、株元に包丁を入れて切り取ります。再度、包丁を入れて下葉を落として結球部を調整します（図5）。

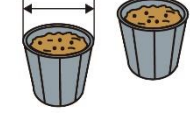
※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

成松次郎（なりまつじろう）

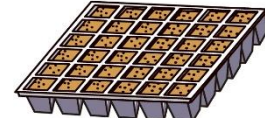
神奈川県農業技術センター等で野菜の研究と技術指導に従事後、（一社）日本施設園芸協

図1 苗作り

7.5~9cm



小型ポット



セルトレー

図2 畑の準備



図3 マルチ張り

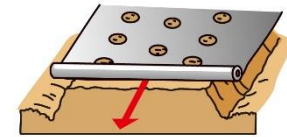


図4 植え付け

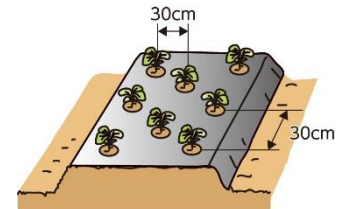


図5 収穫

